

令和5年度第3回白石町総合教育会議 会議録

1 日時 令和6年2月22日（木） 11:00～12:00

2 場所 総合センター 2階 集団指導室

3 出席者 【構成員】

白石町長 田島健一

教育長 北村喜久次

教育長職務代理者 松尾博之

教育委員 堤王宏

教育委員 川崎姿子

教育委員 一ノ瀬ひとみ

【事務局】

企画財政課 課長補佐 筒井直

企画財政課 政策調整係長 溝口篤

企画財政課 政策調整係 主事 武富誠弥

企画財政課 政策調整係 主事 山下彩子

学校教育課 課長 出雲誠

学校教育課 新しい学校づくり専門監 永石敏

学校教育課 主任指導主事 梅木純一

学校教育課 課長補佐 山下将史

学校教育課 新しい学校施設係長 池田敏雄

生涯学習課 課長 矢川靖章

生涯学習課 課長補佐 永尾宗紹

【傍聴者】 4名

筒井企画財政課長補佐

おはようございます。

会議を始めます前に、会場の皆さんにお願いいたします。

携帯電話をお持ち込みの方がいらっしゃいましたら、電源をお切りになるか、マナーモードへの設定をお願いします。

本日はご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまから令和5年度第3回総合教育会議を開会いたします。

本日は田島町長、北村教育長、松尾教育長職務代理者、堤教育委員、川崎教育委員、一ノ瀬教育委員に参加いただいております。

ここで会議に先立ちまして、田島町長より挨拶をお願いしたいと思います。

田島町長

皆さん改めましてこんにちは。

先ほどまで定例の教育委員会が行われていたようでございます。

引き続いての総合教育会議を開催させていただきますけれども、皆さんお疲れのことと思いますけれども、どうぞよろしくお願いいたしたいと思います。

さて先月も総合教育会議を開催させていただきましたけれども、前回の会議では、令和8年度開校予定の有明地域の新設小学校について、その校名についてのご意見を交わさせていただいたところでございます。

校名につきましては、アンケートで一番多く寄せられた「有明小学校」がふさわしいのではということで、皆様と意見が一致したように思います。

まもなく開会いたします。3月議会において、有明小学校の設置条例を提案致すことにしております。

議会の議決を受ければ、正式に有明小学校が誕生することになります。

また4月からはいよいよ新しい白石中学校も開校いたします。

一步一步、学校再編が進んでいることを実感いたしますし、着実に進めていかなければならないという思いを新たにするところでもございます。

今後とも、教育委員の皆様方のお力添えをいただきたいと思います。

さて、本日の議題も同じく小学校再編についてでございますけれども、令和12年度開校予定の白石地域新設小学校のことについて、皆様とご意見を交わさせていただきたいと思っております。

短い時間ではございますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単でございますけれども、挨拶とさせていただきます。

筒井企画財政課長補佐

ありがとうございました。

それでは早速、本日のテーマに入りたいと思います。

テーマについては、白石町総合教育会議設置要綱第4条第3項の規定により、会議の議長は町長をもって充てると規定されていますので、田島町長より進行をお願いします。

田島町長

それでは、本日のテーマ「白石地域の新設小学校基本構想案について」の意見を交換をさせていただきたいと思います。

まずもって事務局よりの説明をお願いいたします。

池田新しい学校施設係長

白石地域新設小学校基本構想案についてご説明いたします。

まず、本構想を策定するにあたり、白石地域内の小学校校長や運営協議会委員、保護者等17名で構成する策定委員会を設置いたしました。

2月6日に3回目の策定委員会を終え、本構想案ができましたので、その内容について概要を説明いたします。

まず表紙の裏の方をご覧ください。

目次が「1 はじめに」から「7 整備地の選定」まで大きく7項目あります。

1ページをご覧ください。

「1 はじめに」ということで、まず目的ですが、白石・六角・須古・北明小学校の4校を1校に再編し、令和12年4月1日に白石地域新設小学校を開校するにあたり、学校の規模や求められる機能等、学校建設に関する基本的な考え方について整理し、今後の基本計画に反映するために策定するものです。

次に、基本構想策定の実施フローです。

本構想を策定するに至ったフローを示しています。

2ページをご覧ください。

近年の社会情勢と小学校教育を取り巻く状況ということで、国においての近年の社会情勢これからの学校教育の在り方を記載しています。

3ページをご覧ください。

新しい時代の学びの実現に向けて解決すべき主な学校施設の課題として、4ページまで記載しています。

5ページをご覧ください。

白石地域の学校施設における機能面等の現状と課題ということで、国の状況を踏まえ、白石地域の小学校について、6ページまで整理しています。

7ページをご覧ください。

「2 施設コンセプト等の検討」ということで、まず上位計画と基本構想の体系

ですが、白石町の上位計画及び関連計画を勘案し、内容の整合を図ることとしています。

8 ページをご覧ください。

新しい時代の学び舎と白石町の目指す小学校像・児童像ということで、国の目指すべき姿を示しています。

9 ページをご覧ください。

ここでは白石町立小学校再編計画に掲げられた目指す小学校像・児童像と、それらを具現化するための手立てを定めています。

10 ページの方をご覧ください。

施設コンセプトの検討ということで、四つの施設コンセプトについて、左側に国、右側に白石町を記載し、比較できるようにしています。

11 ページ、12 ページは施設コンセプトを具体化するための施設検討方針を示しています。

13 ページの方をご覧ください。

ここから 15 ページまでは、先進事例調査ということで、2000 年以降の小学校整備における九州内の先進事例について記載しています。

16 ページをご覧ください。

施設コンセプトに基づく必要機能の検討ということで、小学校施設の基本構成を示しています。

17 ページをご覧ください。

施設規模の検討ということで、白石町全体における児童数の人口推計と白石地域新設小学校開校時の児童数を示しています。

令和 12 年度の白石町全体予想児童数は 690 名、うち白石地域新設小学校の児童数は 317 名となっています。

18 ページをご覧ください。

ここでは、施設規模の想定を行っています。

施設として 8900 m²、屋外では 3 万 1100 m²、合計 4 万 m²程度を目安としています。

19 ページをご覧ください。

敷地条件の把握と整理ということで、まず、再編対象である小学校敷地、中学校に隣接する土地、役場や総合運動場に隣接した土地の 5 ヶ所を選定しました。

その敷地の概要として、それぞれの候補地の敷地状況及び候補地の位置を記載しています。

候補地のうち、A・D・E が再編対象校で、A が白石、D が六角、E が北明小学校周辺となっています。

なお、須古小学校については、埋蔵文化財包蔵地に指定されているため、候補か

ら除外しています。

Bは白石中学校北側周辺、Cは役場北側周辺となっています。

20 ページの方をご覧ください。

候補地選定の視点ということで、立地環境、敷地状況、まちづくり、防災対応の大きな四つの視点を置き、この視点を踏まえて、評価項目を整理しました。

21 ページをご覧ください。

候補地の現況ということで、写真を交え、道路、上下水道、電気、ガス等のインフラ状況を整理しています。

始めは候補地 A になります。22 ページの方につきましては、候補地 B、23 ページは候補地 C、24 ページは候補地 D、25 ページは候補地 E となっています。

26 ページをご覧ください。

候補地付近の地質状況を入手できた既存の資料を用いて確認しています。

27 ページをご覧ください。

候補地整備のための主な法的条件として、農振除外、農地転用、開発行為のことについて記載しています。

図 7-1 に示す◎のポイントは、白石地域の地理的な中心位置と、人口密集地の中心位置が重なる位置として、旧白石町役場付近としており、この後の評価で用いるため、記載しております。

28 ページの方をご覧ください。

整備地の選定ということで、まず候補地の比較として、大きな四つの視点を踏まえ、評価項目を 5 段階で点数をつけ、合計点が最も高い候補地が建設地として最適であると設定しております。

29 ページをご覧ください。

五つの候補地の比較表で、30 ページまで続いています。

比較項目の評価を行い、各候補地の総合評価としての結果を出し、一番は B、続いて同点で A と C、続いて D、E の順となりました。

31 ページをご覧ください。

ここで先ほどの総合評価の結果、B が適していることを記載しております。

32 ページをご覧ください。

ここでは、候補地 B について、施設配置・土地利用計画の検討を行っています。

33 ページをご覧ください。

先ほどの各施設の配置計画方針をもとに、イメージ図を記載しております。

34 ページをご覧ください。

ここでは、開校までの概算事業費と事業スケジュールを記載しております。

以上で概要の説明は終わりますが、今後のスケジュールとしまして、2月26日からパブリックコメントを実施し、基本構想に必要なご意見等があれば、第4回の策定委員会で協議していただくようにしております。
以上です。

田島町長

はい、ありがとうございました。

ただいま担当者の方から、白石地域新設小学校基本構想案の資料を基に、コンセプトや先進地事例や、主要機能の検討、施設規模の検討、敷地条件の把握と整理、そして整備地の選定ということでございました。

一応5ヶ所ぐらい検討した中で、最終的に1ヶ所の提案という説明があったかと思います。

これを受けまして、教育委員の皆さん方と意見交換をさせていただきたいと思います。

いろんな自由な意見、活発な意見、よろしくお願ひしたいと思います。

一気に説明をしていただきましたけれども、途中の段階でもいいだろうし、もう最終の箇所のところでもいいですけども、忌憚のない意見をお願いしたいと思います。

堤教育委員

一つお尋ねしたいと思います。

立地の話と、今後どういう設備にしていくかという話が出てくると思うんですけど、この基本構想の段階では立地のこととその設備に関することも、両方がここに入っているという認識でいいんですかね。

例えば、プールをどうするかとか、体育館をどうするかとか、児童クラブどうするかとか、そういったところをどこまでどういうものを作るんだとかっていうところは、今後何か別の細かいものが出てくるということなんでしょうか。

永石新しい学校づくり専門監

先ほどのご質問でございますけれども、今から施設等の規模とか、どういうものにするのかとか、教室の配置につきましては、今後基本構想が終わった次の段階の基本計画の中で、検討を進めさせていただきたいと思っております。

堤教育委員

そうすると場所についてもおそらくこの流れでなってくると思うんですけれ

ど・・・白石中学校の横ですよ。

（事務局）はい。

例えば中学校との一体的な活用の仕方とかいろんなことが入ってくるのと、もう一つあそこは只江川流域と白石川流域の境目みたいところで、ちょっと微妙な排水の問題とか、地元の方たちは心配されるのかなと思ってるところです。

場所については、上廿治とか中廿治とかその近辺の方、太原、遠江の方たちにもちょっと配慮していかないといけないのかなと思います。

新しい白石中学校に通うのは福富・有明を含めた子供たちなので、白石地域の子供たちだけではないというのが、今までとちょっと違うところはあるんですけども、今部活動検討委員会の委員長をさせていただいて、部活動の地域移行について、中学校が1校になったときに、練習の場所をどうするかが、非常に問題になっているところです。

白石中学校の体育館だけでは当然足りないから、白石地域にある旧白石町で使っていた社会体育館を今現在使用しているわけですけども、そこに福富・有明の子たちも入ってくる、そうすると白石地域の社会体育館はそこしかないわけで、それがほぼ有明福富の子たちも含めた中学生に使われてしまうと、一般の方たちの社会体育館としての役割がかなり制限されてくるんじゃないかという懸念もあります。

例えば小学校で新しく体育館を作られるのであればそういった機能も持ち合わせながらとか、そういうことも考えてもいいのかなと思ったところです。

さらに言うと今部活動改革が全国的に進んでいて、中体連の方にスポーツ庁から夏の大会は全部エアコンのついた体育館でしなさい、っていう要請があっていて、そうじゃなければもう夏はしなさんな、他の時期に移しなさい、というのがかなり強くスポーツ庁から中体連の方にも言われていて、そうすると、既存の体育館を断熱してそこにエアコン入れると膨大なお金がかかってしまうので、今後のことを考えると、何かそういったことも兼ね備えたような形でしていくことを検討されてもいいのかなとちょっと思ったところです。

田島町長

はい、ありがとうございます。

先ほどの堤委員からのお話は、基本構想でもそうでございますけども、基本構想から基本計画に入るときに加味していただければと思います。

やっぱりさっき言われたように、今度中学校も統合になりますので、今の体育館でいいのかどうかというのもあります、

さっきの話でありますけれども小学校体育館も、この地区として有効に使う

ためにはもう少しグレードアップしていくのもですね、ありかなと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

堤教育委員

補足っていうか追加で言っておくと、今現状、中体連ができそうなエアコン付きの体育館で多分県内あんまりなくて、多分この辺だと、多分嬉野にあるんですよね。

今度武雄にできたのがどうかちょっと私もよく知らないんですけど、非常に限られたところしかないので、ある意味まちづくりとして人を呼ぶという意味合いでも、そういったのが今後必要かなと思っていますのでよろしくお願いします。

松尾教育長職務代理

今日はこの候補地の中からどこにしようかっていうのを検討していくっていうのが主な内容になってくるんでしょうか？

田島町長

今日は基本構想ということで、コンセプトの検討など考え方そのものについても、いやそれではだめだということがもしあればそれも言っていただいていると思いますけども、そういった考えも踏まえて候補地を選定しており、その中でもBが良かった、という流れになっているわけでございます。

先ほど堤委員の方から、白石は平地でございますので水の心配があるということも言っていただきましたが、新しい小学校を作るにあたって、十分検討しなければいけないところであります。

治水対策については教育委員会だけの話ではなくて、白石町としても今流域治水の中で色々と検討しているところです。第一段階として、国道444より下を今国の事業で色々とやっていただいておりますけど、第2段階として、国道207もしくは鉄道、その次にまた上の方と、河川の整備というのは下流からやるのが鉄則でございます。

先日、地域の方に呼ばれて上甘治区の方でゆめトークというのをさせていただいたのですが、その時にもこの地域が一番浸水冠水がひどいんじゃないかということで話があり、私も十分わかっておりまして、先ほど言いますように、河川改修というのは上からだけしても水がこぼれてしまうので、下からやっていくのが鉄則であります。この地域は只江川が近くにありますので、只江川を上にして水を下流に持っていくということをしていく必要があります。その中

で、小学校もですけど中学校があり、また白石町の中でも人口集中地区でもございますので、町長部局の方でも今一生懸命検討させていただいているところです。

他に何かありませんか。

北村教育長

今回の基本構想案については目次にも示してありますけど、1から5までについては、これまでの小学校の再編計画の中にもしっかりと盛り込んでもらってる部分で、表現こそ違いますが、これは再編計画の中で確認済みのことだと思っています。

今回場所をどうするかというのがやっぱり一番のメインで、ここの選定については非常にいろんな考え方があって難しかったと思います。別添に選定基準の指標に当たる一覧表も配っていただいております。

それぞれの判定の数値が書いてありますけども、これが恣意的でない数字であるということを示す意味でも、非常に大変だったと思います。

客観的なこういった資料を考えていただき、本当にご苦勞様でしたと、改めて言いたいところです。

教育長としてもこの数字の一番大きいところが妥当だなと思いますが、学校教育以外にも、例えば今までの小学校みたいに単独で小学校がポツンとあるよりも、小学校、中学校を合わせた施設の活用ということで、今までにないダイナミックな教育活動も展開できる、例えば社会体育館、中学校・小学校の体育館を同時に展開する、そうすると同時に行事ができる、複数の対象者を呼び込める。

合わせて、町外からも何か大きな大会とか何とかで、多くの人を今までになく呼び込める可能性も大きく広がるというわけで、町の活性化についても、大きく繋がるんじゃないかなと思います。

ただ、私も時々責められるんですが、あの水害常襲のところにまた、というような議論が、今後出てくると思うんですけども、これについては今町内で治水をどうするかということでいろいろ検討をしてもらってますので、ぜひ特に流域治水の問題で排水の問題については、しっかり頑張ってくださいかなと思います。

今日も（話に）出てますけども、只江川と有明水路の両方に流れるところで、途中国道があったり線路があったりで、大きな地沈水路がありますけど、そこが線路とか国道で、遮断までいきませんが、流路が狭まってしまうというような現実があります。そこら辺については今後ぜひ改善の方向で進んでもらえればと思います。

合わせてこの後、基本計画とか、基本設計の方に進むんですけども、やっぱり

今まで、避難所として学校を使うというのは、新明地区が台風で全員避難という状況があったときに、1回だけ白石中学校の体育館を開けた経緯がありますけど、今後どういう災害が起こるかわからない。

だから学校も避難所として、活用せざるを得ない、開放せざるを得ないというような事態も想定しておかなきゃならないと思うんですね。

そういうときに、例えば空調の設備も多額の費用もかかりますけど、そういうことも想定しておかなきゃならないことかなと考えます。

だから、今後の事ですけど、やっぱり大きな空調の効いた施設が町には一つは、もちろん総合センターとかありはしますけどですね、体育館としてそういうものが一つあってもいいかなということも、今後の検討事項の一つになってくるかなと思っているところです。

堤教育委員

中には家具の配置をどうするかとか、新しく建つわけなのでその辺はかなり自由度が高くできると思います。

やっぱり既存の学校というのは何十年の歴史がある中で、いろんなものが家具にしてもそうですし備品にしてもそうなんですけど、積み上がってしまっとなかなか一朝一夕にそれを片付けられるかっていうとそうもいかないところがあって。

12月の教育委員会の定例会のときに、緊急地震速報が流れたとき、あれは数秒の間に身を守らないといけないっていうものなので、自動的に放送で流れるとかそういう仕組みがありますかっていうお話をちょっとさせていただいたんですが、現状ほとんどそうっていないと思いますけれど、やっぱりこないだの能登の地震とかでもそうですけれど、あれぐらいの地震が来たときっていうのは備品や家具とかの転倒もそうですけれど、備品が飛び交うような状況を想定しておかないといけないので、そういったところも想定したような何か。

今のコンセプトの中にエコのことがたくさん書かれてると思うんですけど、そういった安全面とかのところも、ソフト面でしっかりしていただければと思います。よろしくお願いします。

永石新しい学校づくり専門監

ありがとうございました。

先ほどのご意見等も含めて、次のステップの基本計画の方で検討させていただきたいと思っております。

一ノ瀬教育委員

今朝（基本構想案を）いただいて、あまり目を通す時間がなくてさっきからずっと見ていますけれども、現状と課題もきちんと把握した上で、そのコンセプトは、例えば 11 ページなんか、わくわくするような基本構想ができてるなと思いました。

（学校で）働いていた人間からしたら、11 ページの 1-（4）教職員同士が情報や知識を共有できる共有スペース、児童の相談を受けやすくするコミュニティスペース、リラックスができるリフレッシュスペース、個別の作業ができる集中作業ブースなんか、すごくわくわくするような。

ぜひ基本構想を現実のものにしてほしい、よくできているなと思いました。

一つだけ質問で、洋式トイレの件がああ課題に挙がっていますが、洋式化は 100%を目指しているんですかね。

永石新しい学校づくり専門監

トイレの洋式化については、100%洋式化することを考えているところです。

田島町長

建物が平屋なのか、2 階建てなのか、3 階建てなのか、4 階建てなのか、学校の階数について、構想段階で示してあるんでしょうか。

永石新しい学校づくり専門監

（基本構想でも）建物の階数とか、目標としてはこういう教室を配置したいというのを書いておりますけれども、各部屋の大きさについてはまだこの構想の段階では決定しておりませんで、先ほど申し上げましたように、今から基本計画の中で、どの部屋にどのくらいの大きさを確保したらいいのかとか、階数も 2 階にした方がいいのか平屋がいいのかということを含めて、次の段階で検討していきたいと考えております。

今現在の基本構想については、最大施設が取れるような大きさと、面積の算定をさせていただいているところです。

堤教育委員

例えば 2 階建てとなったときも、バリアフリーという点からエレベーターを設置するということになるんですかね。

永石新しい学校づくり専門監

そうですね。今回バリアフリーに全て対応するような形になりますので、複数階になれば、言われますようにエレベーターとか、そういう施設が入ってくるということに思っております。

田島町長

2階建てでもエレベーター。長いスロープとかそういったのではない？

永石新しい学校づくり専門監

その部分についてはまた今後検討させていただきたいと思います。

規定の勾配等もありますので、長さ、スペース等も含めて、検討させていただきたいと思っております。

川崎教育委員

新しい学校ということで、子育て世代の方も注目をされているところかなと思っております。

やっぱり先ほど一ノ瀬さんも言われたんですけども、コンセプトの中でですね、一定のセキュリティラインを確保したってところもすごく大事なかなと思っております。

子供たちの環境もすごくいろんなところから守らなきゃいけない部分も大変多いと思うので、ここが確保した上で、その地域との交流が生まれるっていうスペースはとていいんじゃないかなと思っております。

私もやっぱり防災っていう面で学校が活用される可能性というのがこれからもっと大きくなると思うので、建物の高さとかも、めったにないかもしれないけど津波のこととか、これから視野に入ってくるのかなとか、どうやって決めていくのかということも、注目をしていきたいなと思っているところです。

すごく皆さん楽しみにされていると感じております。

永石新しい学校づくり専門監

ありがとうございます。

こちらの方も11から12ページに掲げておりますが、災害対策や地域のコミュニティの中でも、防災・防犯は確保するというような旨で検討していきたいと思えます。

堤教育委員

バリアフリーに関連してなんですが、医療ケア児のお子さんの受け入れとい

うことも出てくると思います。

そうなってくるともちろん医療ケア児のお子さんでもできるだけ地元の学校とか、地元というのは、例えば福富のお子さんだったら福富小学校だったり、有明のお子さんだったら有明小学校だったりっていうことが一番望ましいのかもしれませんが、そうは言ってもなかなか対応として難しいという局面も出てくるとある程度そういったことを想定した環境の整ったところということで、場合によっては、有明福富の医療ケア児のお子さんが新しくできた白石地域の小学校を選ばれるというケース、あるいはそれに対応しないといけないというケースは多分出てくるんじゃないかと思います。

という意味ではちょっとそういったことも十分念頭に置いて、できるだけ快適に学習できるような環境も考えていかなければいけないのかなとは思っています。

特に有明中学校は、建設当時としては非常に素晴らしいコンセプトで作られた非常にいい環境なんですけども、それでも建設されて 20 年 30 年経つてくると、やっぱりどっか合わないところというのは必ず出てきますので、そういった意味ではちょっとその辺も充実させて、町内全域からもそういうケアが必要なお子さんが快適に過ごせるという環境を作っていってもいいのかなとちょっと思いました。

永石新しい学校づくり専門監

ありがとうございます。

その点につきましても、今後検討させていただきたいと思います。

松尾教育長職務代理

今日初めて（基本構想案を）見たのでまだわからないんですけども、3 ページからのところで学校施設の課題というところが入ってますが、ここを今後話を詰めていくべきところなのかなと思うんですが、これに沿っていけばとってもいい学校ができるんじゃないかなと思うんですけども。そういうことではないですかね。

永石新しい学校づくり専門監

今のご質問の分については 3 ページから 6 ページまでの分かなと思っております。

まず、全国的な状況と現状と課題、それと 5 ページ目からは現在白石町が抱えている現状と課題ということで列挙させていただいております。

ここに書いております課題については、新しい学校を作る際にここは課題だったというところを参考にして、この課題を克服できるような形で計画を進め

ていくということで、課題を挙げさせてもらっているところです。

一ノ瀬教育委員

新しい学校がこうやってできて先ほどもわくわくすると言いましたけれども、気になるのは福富小学校の件で、有明小学校は整備されて綺麗になって、白石小学校はこんなに素敵な小学校になりそうだとということで、現在の福富小学校があれだけ古い、それから設備もちょっと暗かったりしますけど、そういうところはお金をかけて、やっぱり子どもたちに、いいな白石だけって思われたいようにっていうのも必要じゃないかなと思います。あまりにもギャップが大きいです。

元々の構想のときは、福富もこっちに来るはずだったのが、福富をそのまま残すことになって、それはそれで地域の方が良かったと思っておられると思いますが、いざできた学校を見たらいいなって感じるだろうなと。私もいいなと思うぐらいだから。

永石新しい学校づくり専門監

福富小学校につきましては、非常に建築年度が古くなっておりますけれども本体自体はまだしっかりしてるというところから、来年度以降、6年度以降にまた改修の委託業務を考えております。

一ノ瀬委員が言われますように、だいぶ古くなって内装等もありますので、明るくなるような感じの手立てを考えていきたいと思っております。

田島町長

そしたらやっぱり最終的には、28 ページ候補地比較の結果ということで、5つの候補地を比較して候補地 B が以下の点で優れると認められる、とありますけど、認められるっていうだけ決定じゃないわけですね。

この総合教育会議の中では、この案でいいですか、次のパブリックコメントにかけていいですかとお諮りするんですよね。決定ということじゃないわけですね。

永石新しい学校づくり専門監

今回の基本構想では、B を候補地と決定したいということです。

田島町長

優れると認められる、とぼや一つと書いてあるので、決定するのかしらないのか。

山下学校教育課長補佐

基本構想の表記の問題で、「特に優れると認められるので、候補地 B とする」という表記でもいいと思うんですよね。

ここでは候補地を導き出して、B が候補地として最適であるという基本構想になっていますので、この基本構想を策定するということは結果的に候補地 B を選択した、ということになるかと思います。

「優れると認められる」という表記のしかたが弱い、ということであれば、「候補地を B とする」という表記でも構わないと思います。

堤教育委員

言葉の問題かもしれない。

候補地として決定したという言い方だとすると、候補地 ABCD ってその前のエントリーされた段階の候補地っていう言葉と、これが候補地として決定したんだっていう候補地が同じ言葉を使ってるので、なんかちょっとわかりにくくなっていて、あくまでもその場所に決定したんじゃなくて、「候補地として決定しました」ということをパブリックコメントに諮るのなら、この ABCD ってのは候補地ではなくて何か少し違う言葉なのかなとちょっと思ったんですけど。

永石新しい学校づくり専門監

おっしゃるように、候補地 B といいますか、B を建設予定地として決定したということでございます。文言については修正をさせていただきたいと思います。

一ノ瀬教育委員

変なことを聞きますが、一番安く、出来上がる場所はどこですか。やっぱり B ですか。

永石新しい学校づくり専門監

用地の敷地の条件と確保の要件というところにあります。

その中で、用地を取得する際にどうしても補償ができたりとか、移転や町道の付替えが必要だったりとか、どうしても他の候補地がその分費用がかかる形で評価の参考とさせていただいております。

建物についてはどこの敷地でも大きさは変わらないと考えておりますので、用地取得に係る費用というところで審査が行われています。

堤教育委員

先ほど一ノ瀬委員さん福富小学校の話をされましたけれど、確かに白石に非常に新しいのができるというところで、おそらくそういった感情は部分的に多分出てくるんだとは思いますが。

最初に私がお話ししたようなところで、例えば中学校は福富、有明地域の子供さんたちも来られますので、その子たちも何かしらの形で恩恵にあずかれるような施設設計、物理的な設計というよりはソフト的な設計をし、できれば何か活用できる形にすればいいんじゃないかなとちょっと思いました。

永石新しい学校づくり専門監

ありがとうございます。そちらの方も、6 年度で検討させていただきたいと思っています。

松尾教育長職務代理

私も候補地 B が一番適切ないい場所だと思うんですが、この点数の配分が何かそれありきの点数の出し方なんで、そこが町民の皆さんがどう受けられるかっていうのがあるので、この辺も少し見直しをされた方がいいかなと思います。

永石新しい学校づくり専門監

ここの候補地の選定につきましては、別冊 2 でお手元にお配りしている A3 版の資料があるかと思います。

この候補地の選定につきましては、ここありきっていう形ではなくここに書いております、白石の地域内での位置とか、通学の敷地条件等々踏まえたところでの点数の配点をさせていただいたというところで、全般的に一つの目でまんべんなく検討させていただいたものと考えているところです。

田島町長

いろいろ貴重な意見をたくさんいただきました。本当にありがとうございます。

パブコメももう 1 回あるわけでございますけれども、最終基本設計に入る前の段階での取り扱いのところについてはまた、事務局できちんとやっていただきたいところでございます。

続きましてその他の項に入らせていただきたいと思います。

教育委員の皆さん方から何かございませんでしょうか？

堤教育委員

ちょっと前にもお話した、私は今、部活動地域移行検討委員会で委員長をさせていただいて、おそらく佐賀県内では白石町が一番ダントツ議論が進んでいると思います。

一つはやっぱり中学校が一つになるタイミングと同じだったというのが一番大きいと思います。

その中で今地域の方々もいろいろ協力していただいて、非常に大きな動きになってくるんじゃないかなとは思いますが、まだ他の周辺の市町さんはまだ様子見というところもかなり多くて、そんなに進んでいないところがほとんどだと思いますけど、このペースで多分予算づけのこととかもいろいろ出てくるとは思うんですけど、このペースで進めていいのかどうか、どうなのかというところをちょっと少しちょっと町の町長のご意見というか、聞かせていただきたいなと思ったところです。

田島町長

これについては、文科省も一番最初は、地域移行というところの頭のところは先生たちの働き方改革からスタートしていたんじゃないかなというのがちょっとありありだったようでございます。

そういったことから、私もいろんな会議に出席させていただいてるんですけど、全国町村会の中でも、当時室伏さんとか、あと局長とかが説明に来られたときも、全国町村会としては総スカンだったんです。

というのは、全国町村会のメンバー926の町村あるんですけども、まず2万人、3万人弱の町村から、1000人未満ぐらいの町もあるわけですね。

市と違って規模が小さいもんですから、役場として支援はできないというようなことを、実態を踏まえてくれということで相当な反対があったんです。

しかしながら、それは私も、さあ県としてどうなのかなと思っていたんですけど、うちの町は2万人程度の人口の中で、これまでもスポーツが一生懸命やっていた。

それをバックアップしていただいているのも学校もそうですけれども、地域の人たちのバックアップが大きかった。

これはやっぱり県内の町とか全国の他町村に比べて、やっぱり白石は特別だなと思いました。

というのはやっぱりコミュニティスクールもできていたし、元々旧3町の人たちの団結というんですか、コミュニティがうまくいっていたというのが根本にあるんじゃないのかなと。

だから、先ほど堤委員からも言われたように、一般の人どっちもお手伝いする

よってというような話があちこちから聞こえてくると、それは教育長からも話を聞いておりました。

だから私は、全国の町村会が云々とか、県内の町村が云々というよりも、白石町は白石町、周りのことも見ていないといけないんですが、今一生懸命やっていたこのスタイルを伸ばしていかなければいけないだろうと思っています。

そういうことで予算付けについても、今具体的にいくらというのは、まだ多分あがっていないかも知れませんが、いろいろとやっていければなと思っています。

今鹿島市には、大学駅伝のチームが合宿にずっと来られていて、今回も東洋大学さんが 20 日から来られているということで、23 日は白石町に来ていただいて、アスリートクラブさんとか白石高校さんと一緒になって、やろうということにいたしております。

これもそういった流れの一つだと思いますけども、やっぱり地域の人たちと子供たちが、もちろん先生も入っていらっしゃいますけれども、盛り上げていければいいなと思っていますので、予算の必要なところについてはいろいろまた検討させていただければと思います。

町自体もスポーツと健康増進のまちというところをうたってそれに向かってやっていますので、当然子供たちからお年寄りまで、また、町内では違ったスポーツの話にもわかに聞こえても来ておりますので、とにかくスポーツと、そして子供たちから大人までの健康増進に繋がるようにやっていきたいと思っています。

そしたら、事務局からは特にないようでございますので進行をお返ししたいと思います。

筒井企画財政課長補佐

田島町長、教育委員の皆様ありがとうございました。

それでは、これをもちまして令和 5 年度第 3 回総合教育会議を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。